

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	札幌大学
設置者名	学校法人札幌大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
地域共創学群	人間社会学域	夜・通信	10		41	51		
		夜・通信						
		夜・通信						
		夜・通信						
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

【ホームページ】 https://www.sapporo-u.ac.jp/disclosure/
--

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	札幌大学
設置者名	学校法人 札幌大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<p>【ホームページ】札幌大学について 学校法人札幌大学 役員等名簿 役員（理事・監事）令和4年4月1日現在 https://www.sapporo-u.ac.jp/img/2022_yakuin.pdf</p> <p>【ホームページ】「2021（令和3）年度事業報告」の後半に添付している「2022（令和4）年度事業現況」内に掲載 https://www.sapporo-u.ac.jp/univ-guide/organization/#report</p>
--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
常勤	株式会社役員	2019.11.16 ～ 2023.11.15	経営計画の策定
非常勤	株式会社役員	2019.11.16 ～ 2023.11.15	組織運営体制への チェック機能
(備考) 学外者7名			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	札幌大学
設置者名	学校法人 札幌大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>12月、授業科目担当者に対し記載すべき事項を示した「シラバス入稿要領」を配布し、シラバス作成を依頼している。</p> <p>「成績評価」項目については、規程に則りかつ評価割合を明記するよう依頼するとともに具体例を示している。</p> <p>【シラバス記載事項】</p> <p>①テーマ、②到達目標、③授業概要、④授業計画、⑤事前学習、⑥事後学習、⑦成績評価、⑧テキスト、⑨参考文献、⑩特記事項、⑪オフィスアワー、⑫実務経験</p> <p>1月末の入稿期限後、学長を総責任者としたシラバス確認作業の体制をとり、全授業科目のシラバス点検を実施している。</p> <p>【確認体制】</p> <p>総責任者：学長 実務責任者：教務担当副学長、FD・SD委員長、学務部長 点検担当者：専攻長、教務委員、教務担当副学長、FD・SD委員長</p> <p>以上の過程を経て、3月下旬にWEBで公開し、1年次開設科目については冊子を作成し、新入生ガイダンス時に配布している。</p>	
授業計画書の公表方法	<p>【ホームページ】シラバス https://syllabus.sapporo-u.ac.jp/index.html 【総合学生支援システム(アイトス)】シラバス 【印刷物】講義要綱(シラバス) ※新入生のみガイダンス時に配布</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	

<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>学則において、「履修した授業科目については、試験を行い、学業成績を考査する。試験は筆記、口頭、実技及びレポートによって行う。」と定めている。</p> <p>これに則り、シラバスに「授業計画」及び「成績評価」等を明記し、学生に周知している。</p> <p>シラバスの授業計画に基づき、試験を行い、評価、履修の認定を行っている。</p>	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>学則において、「学業成績は、AA、A、B、C、D及びEに分け、AA、A、B及びCを合格とし、合格した授業科目については、所定の単位を与える。」と定めている。</p> <p>また、履修に関する学務規程において、「学業成績による学業結果を総合的に判断する指標として、総合平均点（GPA）を用いる。GPAは、学業成績のうち、AAにつき4.0、Aにつき3.0、Bにつき2.0、Cにつき1.0、D及びEにつき0をそれぞれ評価点として与え、各授業科目の評価点にその単位数を乗じて得た積の合計を、登録科目の総単位数で除して算出する。」と客観的な指標を設定し、添付資料のとおり、成績の分布状況を把握している。</p>	
<p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p>	<p>【ホームページ】成績評価・GPA制度について https://www.sapporo-u.ac.jp/campuslife/support-study/learning-support.html#sp2 【規程】札幌大学履修に関する学務規程 【印刷物】履修のてびき</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	

<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>学位授与の方針 [ディプロマ・ポリシー]</p> <p>建学の精神「生气あふれる開拓者精神」のもと、「地域共創」の理念を体現し、教育目標に謳われる「生气に溢れ、知性豊かな、信頼される人間」に成長し、以下に掲げる資質を身につけ、所定の単位を修得した学生に学位を授与します。</p> <p>DP1：専門分野についての理解を深め、必要な知識と技能を身につけている</p> <p>DP2：関連する分野についての知識と技能を身につけている</p> <p>DP3：必要な情報を収集し、客観的に正しく評価できる</p> <p>DP4：修得した知識や技能をもとに、よりよい解決策を見いだすことができる</p> <p>DP5：未知のものに挑戦し、粘り強くやりぬくことができる</p> <p>DP6：他者を尊重し、多様な価値を認めることができる</p> <p>以上のようにディプロマ・ポリシーを定め、ホームページ・履修のてびきにおいて公表している。また、これに基づき教育課程表を定め、公表し、2月末に卒業判定を行っている。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>【ホームページ】学位授与の方針 [ディプロマ・ポリシー] https://www.sapporo-u.ac.jp/univ-guide/outline/policy.html 【印刷物】履修のてびき</p>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	札幌大学
設置者名	学校法人札幌大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.sapporo-u.ac.jp/disclosure/#zaimu
収支計算書又は損益計算書	https://www.sapporo-u.ac.jp/disclosure/#zaimu
財産目録	https://www.sapporo-u.ac.jp/disclosure/#zaimu
事業報告書	https://www.sapporo-u.ac.jp/univ-guide/organization/#report
監事による監査報告(書)	https://www.sapporo-u.ac.jp/univ-guide/organization/#report

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:2022(令和4)年度事業計画 対象年度:2022年度)
公表方法:【ホームページ】「2021(令和3)年度事業報告」の後半に添付している「2022(令和4)年度事業現況」内に掲載 https://www.sapporo-u.ac.jp/univ-guide/organization/#report
中長期計画(名称:札幌大学中長期構想 札大みらいフロンティア・プラン 対象年度:2019年度~2023年度)
公表方法:【ホームページ】 https://www.sapporo-u.ac.jp/univ-guide/organization/

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: 大学評価 札幌大学/札幌大学女子短期大学部 (sapporo-u.ac.jp)

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: 大学評価 札幌大学/札幌大学女子短期大学部 (sapporo-u.ac.jp)

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 地域共創学群
教育研究上の目的（公表方法：ホームページ） 【ホームページ】 教育研究上の基本的な情報 https://www.sapporo-u.ac.jp/disclosure/ 経済学専攻 https://www.sapporo-u.ac.jp/department/major-keizai.html#cp_kz 地域共創専攻 https://www.sapporo-u.ac.jp/department/major-sousei.html#cp_ss 経営学専攻 https://www.sapporo-u.ac.jp/department/major-keiei.html#cp_ke 法学専攻 https://www.sapporo-u.ac.jp/department/major-hougaku.html#cp_hg 現代政治専攻 https://www.sapporo-u.ac.jp/department/major-seiji.html#cp_sj 英語専攻 https://www.sapporo-u.ac.jp/department/major-english.html#cp_en ロシア語専攻 https://www.sapporo-u.ac.jp/department/major-russian.html#cp_rus 歴史文化専攻 https://www.sapporo-u.ac.jp/department/major-history.html#cp_his 日本語・日本文化専攻 https://www.sapporo-u.ac.jp/department/major-japanese.html#cp_jp 中国語・中国文化専攻 https://www.sapporo-u.ac.jp/department/major-chinese.html#cp_ch 異文化コミュニケーション専攻 https://www.sapporo-u.ac.jp/department/major-communication.html#cp_com スポーツ文化専攻 https://www.sapporo-u.ac.jp/department/major-sports.html#cp_sp リベラルアーツ専攻 https://www.sapporo-u.ac.jp/department/major-liberalarts.html#cp_lb 建学の精神・教育目標・教育方針 https://www.sapporo-u.ac.jp/univ-guide/outline/spirit.html
（概要） 建学の精神「生气あふれる開拓者精神」のもと、次の 3 つの教育目標とそれに連なる 5 つの教育方針を掲げ、教育改革、研究活動や社会貢献の推進、学生サービスの向上を目指している。 教育目標 「生气あふれる人間」の育成 「知性豊かな人間」の育成 「信頼される人間」の育成 教育方針 1. 北海道から世界へはばたく、視野の広い人間を育てます。 2. 個性をみがき、夢の実現を目指す人間を育てます。 3. 幅広い教養をもち、人生を豊かにできる人間を育てます。 4. 地域を愛し、社会貢献の意欲に富んだ人間を育てます。 5. 環境に配慮し、未来に責任をもつ人間を育てます。
卒業の認定に関する方針（公表方法：ホームページ） 【ホームページ】学位授与の方針 [ディプロマ・ポリシー] https://www.sapporo-u.ac.jp/univ-guide/outline/policy.html

<p>(概要)</p> <p>学位授与の方針 [ディプロマ・ポリシー]</p> <p>建学の精神「生气あふれる開拓者精神」のもと、「地域共創」の理念を体現し、教育目標に謳われる「生气に溢れ、知性豊かな、信頼される人間」に成長し、以下に掲げる資質を身につけ、所定の単位を修得した学生に学位を授与します。</p> <p>DP 1 : 専門分野についての理解を深め、必要な知識と技能を身につけている</p> <p>DP 2 : 関連する分野についての知識と技能を身につけている</p> <p>DP 3 : 必要な情報を収集し、客観的に正しく評価できる</p> <p>DP 4 : 修得した知識や技能をもとに、よりよい解決策を見いだすことができる</p> <p>DP 5 : 未知のものに挑戦し、粘り強くやりぬくことができる</p> <p>DP 6 : 他者を尊重し、多様な価値を認めることができる</p> <p>以上のようにディプロマ・ポリシーを定め、ホームページ・履修のてびきにおいて公表している。また、これに基づき教育課程表を定め、公表し、2月末に卒業判定を行っている。</p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法: ホームページ)</p> <p>【ホームページ】札幌大学 教育課程編成・実施の方針 [カリキュラム・ポリシー]</p> <p>https://www.sapporo-u.ac.jp/univ-guide/outline/policy.html</p>
<p>(概要)</p> <p>学位授与の方針を踏まえ、自由な学びを通じて主体性を育み、総合的な教養を涵養するために、以下の方針に基づき教育課程を編成します。なお、単位認定にあたっては成績評価基準に基づく厳格な評価を行います。</p> <p>CP 1 : 全学共通の基盤教育科目と全学に開放された専門科目を設置し、多様な学びを提供します。</p> <p>CP 2 : 基盤教育科目では、豊かな教養とグローバル世界に対応できる語学力、社会人としての基礎知識を身につけるための科目を配置します。</p> <p>CP 3 : 専門科目では、主専攻の深い専門性を担保する科目を配置すると共に、副専攻をも視野に入れた専攻の枠にとらわれない科目群を提供します。</p> <p>CP 4 : 地域を共に創造する「地域共創」の理念を、自ら考え行動し体験知として身につけるため、アクティブラーニングを重視します。</p>
<p>入学者の受入れに関する方針 (公表方法: ホームページ、受験ガイド)</p> <p>(概要)</p> <p>札幌大学では、豊かな教養と確かな実践力を備え、他者と協力し、未来を切り拓き、地域や世界へはばたこうとする意欲的で多様な価値観を持つ学生を求めています。</p> <p>そのため、以下のような資質・能力・意欲を持った人物を受け入れています。</p> <p>知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高等学校で履修した教科科目について、基礎的な学力を持ち、得意な教科科目を有している。 ・検定試験等を受験し、資格等を有している。 ・日本語で正確に「読む」、「書く」、「話す」ことができる。 ・社会的関心を有している。 ・特技を有している <p>思考力・判断力・表現力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題を自ら発見し、その解決に向けて取り組むことができる。 ・目標を自ら設定し、達成に向けて努力することができる。 ・成果等を表現するため自分の考えをまとめ、相手に伝えることができる。 ・他者の考えを理解し、自分の考えを伝えることができる。

主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度（主体性等）

- ・主体的・積極的に物事に取り組むことができる。
- ・明確な将来像を有している。
- ・主体的に課外活動に参加した。
- ・様々な活動を通じ、他者と協働した。
- ・地域や国内外で活動した。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：【ホームページ】<https://www.sapporo-u.ac.jp/disclosure/>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	5人	—					5人
—	—	51人	9人	9人	3人	人	72人
—	—	人	人	人	人	人	人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
0人		133人					133人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法： https://www.sapporo-u.ac.jp/staff/					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
<p>札幌大学のFD実施方針及び活動計画に基づき、全学的なFD活動を企画・実施している。</p> <p>2021年度は、遠隔授業に関するFD講習会や授業改善アンケートの集計結果を基に学系別FDミーティングを実施した。また、学外機関が主催するオンライン講座やフォーラムに参加し、FDに関する最新情報の収集にも努めた。2022年度においては、今日までに新任教員対象FD研修を実施。</p> <p>また、授業改善アンケートを重点的テーマとし、設問項目や実施方法の見直し等に着手する予定である。</p> <p>今後も、引き続き本学の教育改善を推進すべく、様々な研修や講習会を企画実施するほか、学系毎のFDミーティングや研修の充実も図り、更なるFD活動活性化を目指す。</p> <p>【2021年度 活動内容】</p> <p>① 各種アンケート調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学生による授業改善アンケート（春学期末・秋学期末の年2回実施） ・ 遠隔授業状況調査（学生対象） <p>② 学系FDミーティング</p> <p>③ 学生と学長による懇談会（学生から意見・要望を直接ヒアリング）</p> <p>③ 学内FD研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新任教員対象FD研修 ・ 遠隔授業講習会（遠隔授業の考え方、Microsoft Teams、Microsoft Stream等） <p>④ 学外FD研修会への参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 北海道FD・SD協議会主催セミナー及びフォーラム ・ 教職員能力開発拠点主催FDer養成講座 ・ 大学コンソーシアム京都主催フォーラム <p>【2022年度 活動内容】</p> <p>① 学内FD研修・講習会（新任教員対象FD研修、FDerが企画する研修、その他）</p> <p>② 学外機関主催セミナー等への参加</p> <p>③ 学生による授業改善アンケート調査</p> <p>④ 学系別FD研修・FDミーティング</p> <p>⑤ 学生と学長による懇談会（3回開催予定。第1回開催済。）</p> <p>⑥ その他、本学の教育改善に必要と認めるFD</p>							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等

学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
地域共創学群	800人	797人	99.6%	3300人	3101人	93.9%	人	15人
	人	人	%	人	人	%	人	人
合計	人	人	%	人	人	%	人	人
(備考)								

b. 卒業生数、進学者数、就職者数

学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
地域共創学群	576人 (100%)	3人 (0.5%)	501人 (87.0%)	72人 (12.5%)
合計	576人 (100%)	3人 (0.5%)	501人 (87.0%)	72人 (12.5%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
進学先：札幌大学大学院、北海道大学大学院				
就職先：国家一般職、北海道職員、公立・私立学校教員、株式会社 AIRDO、ミサワホーム北海道 株式会社、ホクレン肥料 株式会社、帯広ガス 株式会社、北海道旅客鉄道 株式会社、生活共同組合 コープ さっぽろ、株式会社 北洋銀行、株式会社 ニトリ、日本郵便 株式会社				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
地域共創学群	714人 (100%)	520人 (72.8%)	66人 (9.2%)	106人 (14.8%)	22人 (3.1%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要) 授業科目担当者に対し記載すべき事項を示した「シラバス入稿要領」を配布し、シラバス作成を依頼している。</p> <p>【シラバス記載事項】 ①テーマ、②到達目標、③授業概要、④授業計画、⑤事前学習、⑥事後学習、⑦成績評価、⑧テキスト、⑨参考文献、⑩特記事項、⑪オフィスアワー、⑫実務経験</p> <p>シラバスは3月下旬にWEBで公開し、1年次開設科目については冊子を作成し、新入生ガイダンス時に配布している。 なお、今年度は対面での実施を原則に授業を運営している。</p>
--

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

<p>(概要) 学則において、「履修した授業科目については、試験を行い、学業成績を考査する。試験は筆記、口頭、実技及びレポートによって行う。」と定めている。 これに則り、シラバスに「授業計画」及び「成績評価」等を明記し、学生に周知している。 シラバスの授業計画に基づき、試験を行い、評価、履修の認定を行っている。</p>				
学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
地域共創学群	人間社会学域	124 単位	㊟・無	40 単位
		単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
GPAの活用状況（任意記載事項）		<p>公表方法：学則、履修に関する学務規程に定める成績評価基準に従い、各評価にGPを与え、学期・通算のGPAを算出している。 各セメスターの履修限度単位数を20単位に定めているが、前の学期のGPAが基準を超えた場合、履修限度単位数を緩和している。 https://www.sapporo-u.ac.jp/campuslife/support-</p>		

	study/learning-support.html#sp2 また、本学独自の奨学金選考の際にも活用している。
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)	公表方法：

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：ホームページで公表

(<https://www.sapporo-u.ac.jp/univ-guide/campus/>)

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考(任意記載事項)
地域共創 学群	人間社会 学域	770,000 円	200,000 円	230,000 円	令和2年度以降入学生(1年次) その他の内訳:教育充実費 (10,000 円)、施設設備費 (120,000 円)、休学中の在籍 料(100,000 円)
	人間社会 学域	770,000 円	円	270,000 円	令和2年度以降入学生(2年次 以上) その他の内訳:教育充実費 (50,000 円)、施設設備費 (120,000 円)、休学中の在籍 料(100,000 円)
	人間社会 学域	770,000 円	円	220,000 円	令和元年度以前入学生 その他の内訳:施設設備費 (120,000 円)、休学中の在籍 料(100,000 円)
		円	円	円	
		円	円	円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
<p>(概要)</p> <p>【アドバイザー制度】 アドバイザー教員が担当学生との面談を実施し、修学相談や指導を行っている。</p> <p>【修学指導】 アドバイザーによる指導の他、修得単位数・前の学期のGPAが基準を下回った学生に対し、事務局による個別指導を行っている。</p> <p>【学修支援センター】 基礎学力の養成、授業に対する理解度を深めるなど、学生の学修全般のケアを行っている。</p> <p>【自学自習ツールの提供】 基礎学力の維持・向上を目的に5教科(国語・数学・理科・社会・英語)を効率よく学べる自学自習ツールを提供している。</p>
b. 進路選択に係る支援に関する取組
<p>(概要)</p> <p>【キャリアサポートセンター】 個人面談:学年問わず、将来についての相談をいつでも受け付けしている。進路についての悩みや不安はもちろん、履歴書の書き方、面接の練習なども対面・オンラインで応じている。卒業後も利用可能。 資格・検定・公務員試験の受験対策講座:多くの講座は学内で開講し、受講料も安く設定している。合格者へのキャッシュバック講座もあり、学生の意欲向上に繋がっている。卒業後2年未満の卒業生も資格・検定が受講できる。</p> <p>【キャリア授業】 講義とグループ・ディスカッションを通して、自己理解・他者理解を深め、地域において他者と共に新しい価値を生み出す力「地域共創力」を身に付ける。実践に役立つ知見に触れ、情報収集のスキルと分析力、自己を表現する力を就職活動に活用する。</p>

【インターンシップ】

派遣先は「北海道地域インターンシップ推進協議会」を通じた企業の他に、学生の選択肢が広がるよう積極的に大学が受け入れ先も開拓している。インターンシップ講座も実施しており、インターンシップの拡大・充実を図っている。

c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組

(概要)

学生からの学生生活で発生するさまざまな悩みの相談に対し、よりよい方法を一緒に考え、より充実した学生生活を送れるように支援を行っている。学生だけではなく、保護者や教職員からの相談にも応じ、相談員がプライバシーに配慮した上で問題解決に向けた支援を行っている。また、相談員に相談できるほか、週に一度の精神保健相談日に精神科医師にも相談することができる体制を整えている。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：【ホームページ】教育研究上の基礎的な情報

<https://www.sapporo-u.ac.jp/disclosure/>

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	札幌大学
設置者名	学校法人札幌大学

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		462人	439人	479人
内 訳	第Ⅰ区分	260人	262人	
	第Ⅱ区分	123人	114人	
	第Ⅲ区分	79人	63人	
家計急変による支援対象者（年間）				－人
合計（年間）				483人
(備考)				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	一人	人	人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間が標準時間数の5割以下)	16人	人	人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	23人	人	人
「警告」の区分に連続して該当	16人	人	人
計	44人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	一人	前半期	人	後半期	人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	一人
3月以上の停学	0人
年間計	一人

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、 高等専門学校（認定専攻科を含 む。）及び専門学校（修業年限が 2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数 の6割以下 (単位制によらない専門学校に あっては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の6割以下)	一人	人	人
GPA等が下位4分の1	40人	人	人
出席率が8割以下その他 学修意欲が低い状況	133人	人	人
計	137人	人	人

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。